

大学1年生

1年生

大学2年生

2年生

大学3・4年生／社会人

1年目

2年生

3年生

2年目

3年生

4年生

4年生

卒業後1年

3年目

4年目

2024

2023

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2024

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2025

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2026

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月



## 森講師 推奨プラン

申込後、すぐにWebにて民事系の学習を始めましょう。11月からの[入門講座]で刑事系・公法系を受講し終えたら、→2024年5月以降は、[合格答案作成講座]へ。早めに論文に取り組むことで学習効果を高めます。



### 入門講座 107回(321時間)

民事系科目はお申込後すぐにWebで受講可能(※1)

Input & Output 連動学習 / 入門／基礎固め



### 論文基礎力養成答練 35回(27時間)

※1 お申込時期、学習環境に合わせて、適宜「スケジューリングサービス」「講師個別相談」にて最適なご受講スケジュールをご提案いたします。

(※2) 本コースには、2024年5月下旬から実施される「全国短答ファイナル模試(全2回)」が付属しております。  
入門講座修了段階で実力診断としてご受講いただけます。

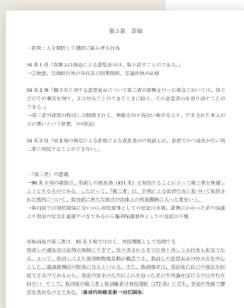
1

## 森クラスのポイント

### 理屈・具体例を用いた基礎からの徹底解説

- ◆ 法律の概念は、一見すると非常に分かりにくいものが多いです。特に初学者のうちは、法律の論理が理解できないこともあるでしょう。しかし、そんな複雑な法律も、「理屈」(法律の趣旨や背景)を理解することで、分かりにくく思えた法律がすっきりと整理できる瞬間が訪れます。

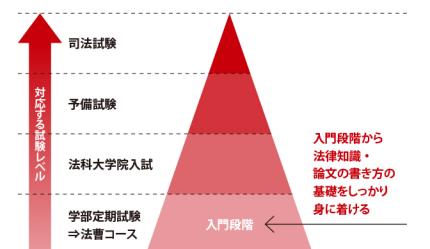
- ◆ 私は、皆さんにもそのような体験をしてもらうため、初学者の目線で、法律の裏にある核心までていねいに説明します。抽象的で分かりにくい法律論は、なるべく具体例を用いて解説します。私の講義を聞いて、分かりにくかった法律も「そういうことか」という納得感を感じながら勉強を進めていくことができます。



## 森クラスのポイント 2

### 法学部定期試験レベルから『論文の書き方』を伝授

- ◆ 法律の試験は、『論文形式』で出題されることが多いです。この論文試験は、ただ単純に知識を吐き出すことでは、なかなか点数に結び付きません。事例問題であれば、当該事例を解決するという、事例に即した解答が求められるのです。しかし、大学の講義では論文の書き方について学ぶ機会は少ないです。
- ◆ 私の講義では、ポイント1でインプットした知識を、論文問題ではどのように表現するかを伝授します。はじめは法学部の定期試験レベルの問題を題材に、論文問題の検討の仕方を学んでいきます。
- ◆ 首席で卒業した経験から、大学時代どのように学習していたかも織り交ぜながら講義を行います。



## 森クラスのポイント 3

### 大学の成績アップにもつながる実践的な『点数の取り方』を徹底指導

- ◆ 予備試験では、『点数の取り方』を知っているか否かが合否を左右します。『点数の取り方』とは、論文問題において『点数の所在を知ること』です。これを修得しておけば、出題者の意図を踏まえた点数に結び付く論述ができるようになります。
- ◆ これは、大学での成績アップにも直結します。また、インプットの段階から『点数の取り方』がわかっていると、膨大な法律知識の中から『試験に必要な法律知識』を選び抜いて重点的に学習することができます。
- ◆ 私の講義では、私が作成した『解答の見本』をもとに、点数が取れる解答の型を自然と身に付けることができます。

#### 一般的な法律の学習

法律知識として単純に覚える

論文試験では使えない浅い知識

その知識が具体的にどこで問題になるのかがわからない

#### 森クラスでは

法律知識 +  
理屈(法律の趣旨+背景)

論文試験で使える深い知識

見たことのない問題でも法律の趣旨から解答が導ける



講義の前後や休憩時間に直接質問ができます  
個別に相談、アドバイスを行います

## 森クラスのポイント 4

### 少人数制、生講義だから 講師と受講生の距離が近い

- ◆ 予備校の授業といえば、生徒はただ講師の授業を聞いているだけというイメージかもしれません。この点、私のクラスでは少人数制を採用し、皆さんの感じている疑問や直接聞きたい質問・悩みに、私がダイレクトにお答えします。

- ◆ 講義時間の他に、質問の場を設けますので、そこで直接質問・相談をしてください。講義で聞き逃したことや、自習をしていてわからないことがあっても心配ありません。

- ◆ 講師が受講生の質問や相談に直接答えることで、皆さんの学習進捗を個別に把握でき、一人一人に適切なアドバイスが可能になります。また、勉強を効率化して試験に向けての正しい学習を進めることができます。講義→復習(疑問点を発見)→質問→理解を繰り返すこと、皆さんの学習知識は盤石なものになります。

予備試験合格者の司法試験合格率は高い!  
予備試験合格者(29歳以下)の2022年司法試験合格率  
**98.65%**